

「2.8秒の脇見」

妻と娘を亡くした遺族の思い

2016年2月8日(月)23時42分

去年、群馬県の高速度道路で車の列にトラックが突っ込み、2人が死亡した事故の初公判が行われました。検察は「運転手が2.8秒間、脇見をした」と指摘しました。事故で妻と娘を亡くした男性が、その思いを語りました。

産業廃棄物処理会社の敷地内 ユニック作業中 トラックの下敷きになり重体

[2016/2/8 19:51]

8日午後2時半ごろ、ユニック車を運転していた男性が作業中に車の下敷きになり、現在、意識不明の重体になっている。事故があったのは、石川県の産業廃棄物処理会社の敷地内。

「なれた道・なれた仕事」に注意！ <“だいじょうぶだろう”は厳禁です>

交差点 「青」信号で発進時 前方、左右、歩行者の安全確認を、もう一度しましょう

バック時は、一度の確認だけでなく、もう一度確認しましょう

車間距離を十分に！ 滑って、追突を未然に防止

自分は、事故を起こすはずがない？ 事故に遭うはずがない？

トラックへも影響

スキーバス事故で安全確保のチェック強化へ、

2016/02/09

国土交通省は29日、「軽井沢スキーバス事故対策検討委員会」を開催、安全確保のためのチェックの強化策などを検討する。15日に長野県軽井沢町で発生したスキーバス事故を踏まえ、再発防止策について検討するもの。規制緩和後の貸切バス事業者の大幅な増加と監査要員体制、人口減少・高齢化に伴うバス運転手の不足等の構造的な問題を踏まえつつ

- (1) 事業参入の際の安全確保に関するチェックの強化
- (2) 監査の実効性の向上(事業参入後の安全確保についてのチェックの強化)
- (3) 運転者の運転技術のチェックの強化
- (4) 運賃制度の遵守等、旅行業者を含めた安全確保のための対策の強化
- (5) 衝突被害軽減ブレーキ等、ハード面での安全対策の強化

一などについて検討するとしている。

事業者の大幅な増加、運転手の不足などはトラック運送業界と共通しているため、参入時や参入後のチェック強化などは今後、トラック運送業界への影響も考えられそうで、ある大手トラックのトップは「あの事故を受けて、高齢ドライバーや深夜運行などの実態に関して社内で改めて実態を把握するように指示を出した」としている。

バス11台中8台違反 陸運支局が抜き打ち監査

2016年2月9日(火)7時46分

1月に長野県で発生した貸し切りバスの事故を受け、国土交通省静岡陸運支局が県内2カ所で運行中の貸し切りバスの街頭監査を実施した結果、車両11台のうち8台で法令違反が見つかった。日程やルートを明記した運行指示書を持っていない悪質なケースもあり、同支局は違反のあった事業者への指導を強化する。

■県バス協会が安全輸送宣言

- 「安全重視の運行管理を厳守する」
- 「運転手の健康管理や点呼を確実に行う」
- 「車両の点検整備を徹底する」などと明記。

大型トレーラー、左折時、自転車巻き込む死亡事故

2016年2月9日 06:22

8日午後7時半ごろ、名古屋市の国道で、大型トレーラーが左折する際に、自転車の男性を巻き込む事故がありました。警察によりますと、この事故で、自転車に乗っていた男性(62)は病院に運ばれましたが、死亡しました。警察は、トレーラーを運転していた、会社社員の男性容疑者(49)を、過失運転致傷の疑いで現行犯逮捕しました。警察の調べに対して容疑者は、容疑を認めているという。

午前8時 交差点、右折の車にはねられ、横断歩道の小学生死亡

右側の車に気を取られ、歩行者に気づかなかった

2016年2月8日(月)13時2分

8日午前8時前、静岡県の県道交差点で、横断歩道を渡っていた小学2年の児童2人が、右折のワンボックスカーにはねられ、1人が死亡し、1人が軽いけがをした。事故が起きたのは、交通量も多い場所だが、見通しは悪くない場所ではねられた。警察は、車を運転していた会社員の男性容疑者(47)を現行犯逮捕した。調べに対し、「右側の車に気を取られ、歩行者に気づかなかった」と話している。